

目 的

将来、所属大学でのトップリーダーや高等教育界のリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成する。

到達目標

【知識】

- ・ 高等教育に関する理論・知識を応用することができる。
- ・ 経営管理・戦略、財政管理・戦略、危機管理に関する理論・知識を応用することができる。
- ・ リーダーシップに関する理論・知識を応用することができる。

【技能】

- ・ 情報収集・分析を行うことができる。
- ・ 企画策定・提案を行うことができる。
- ・ 判断を行うことができる。
- ・ 折衝・調整を行うことができる。
- ・ 後継者育成を行うことができる。

【態度】

- ・ リーダーとしてふさわしい行動をとることができる。
- ・ 立場の違う構成員と協力して働くことができる。
- ・ 地域や高等教育界のニーズに応えることができる。

カリキュラム

講 義	【基礎科目】		【高等教育分野】	
	研究方法論Ⅰ（課題発見と解決） 研究方法論Ⅱ（文献検索・調査法） 研究方法論Ⅲ（調査票の作成） 研究方法論Ⅳ（データ分析基礎） 研究方法論Ⅴ（レポートの書き方）		高等教育政策論 高等教育史 高等教育論 教育関係法規 学生支援論	
義	【経営戦略分野】		【人材育成分野】	
	経営管理・戦略論 大学のガバナンスとマネジメント 高等教育におけるIR 危機管理実践		SD論 リーダーシップ論Ⅰ リーダーシップ論Ⅱ 大学職員論 メンター入門 人材育成ビジョン	
プ ロ ジ エ ク ト	プロジェクト・マネジメント プロジェクト実践Ⅰ （課題設定） プロジェクト実践Ⅱ （進捗状況発表） プロジェクト実践Ⅲ （最終プロジェクト発表） プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）	SD 実践・ 演習	インストラクション・スキルⅠ （プレゼンテーションスキル） インストラクション・スキルⅡ （プログラム設計/シラバス作成） SD実践Ⅰ（プログラム構築） SD実践Ⅱ（プログラム実践） SD実践Ⅲ（プログラム振り返り） メンタリング実践Ⅰ・Ⅱ	

■ 受講生・修了生所属機関

徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、徳島文理大学、四国大学、聖カタリナ大学、松山大学、高知県立大学、高知工科大学、弓削商船高等専門学校

これまでに60名以上が修了しました。

■ 修了生の声

- ・ 同期とのSD実践はやる気が向上した。メンバー全員で協力して模擬講義や本番の講師として実践したことは今後自分自身が人前でプレゼンする機会があれば役に立つと思う。
- ・ メンタリングを実践することができてよかった。ゼミにおけるメンタリング経験を活かしていきたい。

- ・ 自分の所属校以外の、自分とは立場の違う職員との縁ができ、刺激にもなった。2年間の厳しい過程を修了することができ、リーダーとしての知識や経験が身につく、自信にもなった。
- ・ 理論的に物事を考え、計画・実行することが今まで以上にできるようになったと感じた。
- ・ 素晴らしい講師とプログラムであり、参加すれば得るものは非常に大きいので、もっと後輩たちにも経験してもらいたい。

■ 講師 ※スタッフ・ディベロップメント・コーディネーター（SDC資格取得者）

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	講 師	仲道 雅輝※
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	教 授	中井 俊樹※
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	講 師	村田 晋也※
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	講 師	竹中 喜一※
愛媛大学教育・学生支援機構学生支援センター	講 師	阿部 光伸※
愛媛大学教育学生支援部		
愛媛大学SD統括コーディネーター／能力開発室長	吉田 一恵※	
福井大学	監 事	福島 一政※
岡山理科大学	副学長	秦 敬治※
名古屋大学高等教育研究センター	准教授	中島 英博
福岡大学教育開発支援機構	准教授	橋場 論
中京大学秘書部 兼 教育企画課	課長補佐	大津 正知

■ お問い合わせ

SPOD事務局（愛媛大学教育学生支援部教育企画課）
TEL：089-927-9154 E-mail：spod@stu.ehime-u.ac.jp



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

SPOD = Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education



次世代リーダー 養成ゼミナール

高等教育 もっと 経営 プロジェクト
人材育成 学んでみませんか？ SD実践
プレゼンテーション

次世代リーダー養成ゼミナールとは

次世代リーダー養成ゼミナールは、次世代のトップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な「知識」「技能」「態度」を段階的に学び、修得する約120時間の総合研修プログラムであり、参加者が主体的・自主的に学ぶ姿勢が求められます。

【特 徴】

- 2年間で8回実施（1泊2日又は2泊3日×8回）
- プログラムは「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3つの柱で構成
- 受講生による発表や討論を行う時間を十分に設定

ゼミナールでは、講義を通じて理論・知識の修得を、またプロジェクトやSD実践・演習を通じて技能、態度を身につけることを目指しています。

さらに、プロジェクト実践の内容・成果をレポートにまとめるための文章力を養うことも併せて目指しています。受講の対象は、所属機関の学長等から推薦を受けた少数精鋭の職員です。原則、SPOD加盟校の職員としていますが、定員に達していない場合はSPOD加盟校外の職員も受け入れます。

次世代リーダー養成ゼミナールプログラム概要

(1回の日程は2～3日間、開催地は四国の各県)

	1 年 目				2 年 目			
	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回
講 義	【基礎科目】 研究方法論Ⅰ（課題発見と解決） 研究方法論Ⅱ（文献検索・調査法） 研究方法論Ⅲ（調査票の作成） 研究方法論Ⅳ（データ分析基礎） 研究方法論Ⅴ（レポートの書き方）				【高等教育分野】 高等教育政策論 高等教育史 高等教育論 教育関係法規 学生支援論		【経営戦略分野】 経営管理・戦略論 大学のガバナンスとマネジメント 高等教育における I R 危機管理実践	
					【人材育成分野】 SD論 リーダーシップ論Ⅰ リーダーシップ論Ⅱ 大学職員論 メンター入門 人材育成ビジョン		毎回ゼミナール終了後には、次回ゼミナールまでの課題が設定されます	
プロジェクト	自身の関心に基づいて課題を設定し、所属大学内での課題解決のためのプロジェクトを企画・運営し、その実践の中で得られた知見をアクションリサーチの形でレポートとしてまとめます。							
	プロジェクトの企画				プロジェクトを実施			
	・プロジェクト遂行に必要な理論を修得 ・プロジェクトテーマの検討・決定				・進捗状況をプレゼンテーション ・報告書をまとめるために必要な理論を修得			
					プロジェクトの報告			
					・プロジェクトのプロセスや成果をレポートとしてまとめる			
	ゼミ指導							
SD実践・演習	プログラム構築				講師実践		振り返り	
	メンタリング実践 プレゼンテーションスキル修得				等		最終 プレゼンテーション 口頭試問	

ゼミナールの様子

様々な講義やワークを通じて、高等教育機関の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけていきます。



開講式



講義の様子



グループワークの様子



メンタリング



プレゼンテーション



ゼミ指導



修了証書の授与